

# 予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：児童福祉費 目：児童保護費

## 事業名 保育環境改善等事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 子ども・女性局 子育て支援課 保育支援係 電話番号：058-272-1111(内3536)

E-mail：c11236@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 44,590 千円 (前年度予算額： 80,948 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	80,948	40,474	0	0	0	0	0	0	40,474
要求額	44,590	22,295	0	0	0	0	0	0	22,295
決定額	44,590	22,295	0	0	0	0	0	0	22,295

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨(現状と課題)

令和5年度現在、創設から30年以上経過した保育施設も多く、施設内の設備の老朽化が進んでいる。施設整備については、保育所等整備交付金や保育所等緊急整備補助金により補助がされている一方、施設内の設備の更新等は補助の対象とされていない。安心安全な保育の場を提供するためには、設備・備品の整備も必要であり、各施設からも補助を希望する声が上がっている。

### (2) 事業内容

公立及び私立保育所等の保育環境の向上等を図るため、老朽化した備品や、フローリング貼・カーペット敷等の設備の購入や更新及び改修等を行う費用について補助を行う。  
<こども家庭庁保育対策総合支援事業費補助金(保育環境改善等事業 保育環境向上等事業)活用事業>

### (3) 県負担・補助率の考え方

補助率 国1/3、県1/3、市町村1/3  
(補助上限額1施設あたり1,029千円)

### (4) 類似事業の有無

保育所等整備交付金(国庫補助金)  
保育所等緊急整備補助金(安心子ども基金)

### 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	44,590	老朽化した備品や、フローリング貼・カーペット敷等の設備の購入や更新及び改修等を行う費用について補助
合計	44,590	

#### 決定額の考え方

### 4 参考事項

#### (1) 各種計画での位置づけ

岐阜県少子化対策基本計画

Ⅲ 働きながら子育てしやすい環境づくり

2 安心して子どもを預けられる受け皿づくり

(1) 幼児期の教育・保育の充実

#### (2) 他県の状況

近隣県の実施状況 (R4年度時点)

- ・実施 : 4 県 (愛知県、静岡県、石川県、長野県)
- ・実施予定なし : 3 県 (福井県、富山県、三重県)

#### (3) 後年度の財政負担

安心安全な保育の場を提供するために継続的に支援する。

#### (4) 事業主体及びその妥当性

国庫補助に基づく県負担分であり妥当

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

老朽化した備品や設備の更新を行うことで、安心安全な保育の場を提供し、保育環境の向上を図る。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						

○指標を設定することができない場合の理由

保育環境の向上の度合いは、数値で測ることができないため。

### （これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	
令和 3 年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 4 年度	22市町村54施設が当該事業を活用し、設備改修や備品購入により保育環境の向上が図られた。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</li> </ul>	
(評価) 3	創設から30年以上経過した保育施設も多く、老朽化した備品や設備の更新等の必要性が増加している。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</li> </ul>	
(評価) 2	設備改修や備品購入を行うことにより、保育所や認定こども園における保育環境が改善され、現場で働く保育士の負担軽減につながっている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</li> </ul>	
(評価) 2	提出書類の押印省略等、補助金交付申請等の事務手続きの円滑化に努めている。

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 保育施設については、創設から30年以上経過した施設も多く、今後、老朽化による設備の購入や更新及び改修の需要が増加していくことが推測されるため、安心安全な保育の場を提供するためにも継続的に事業を実施していく必要がある。</li> </ul>
--

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 老朽化による設備の購入や更新及び改修の需要に対応するため、継続して支援を行っていく。</li> </ul>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】